



1月のおもしろ宇宙教室

現在受付中

教室名	日時	内容	定員
冬休み自由研究教室 「ロボットを作ろう」	13日(月・祝) 10:30~(90分)	ロボットを組み立て、ロボットの仕組みについて研究する	5人
ジェルガラス教室	18日(土)、19日(日) 13:00~(60分)	カラーサンド、ガラス細工、貝殻等を使用しジェルガラスを作る ※透明なガラスや中に入れる材料等を持参して作成可能	各 10人
キャンドル教室	25日(土)、26日(日) 13:00~(120分)	ロウソクを溶かしクレヨンで着色し、世界に一つだけのオリジナルキャンドルを作る	各 10人

※各教室は小学生以上が対象です。おもしろ宇宙教室の参加には入館料はかかりません。

※申込みは、各教室の1か月前から電話で受付します。

※当日の受付では、氏名、住所、連絡先電話番号、年齢の記入が必要です。

○町出身の宇宙飛行士・毛利衛さんが講演

日本人として初めてスペースシャトルに搭乗し、2023年から余市宇宙記念館の名誉館長を務める毛利衛さんの講演会とパネルディスカッションが、11月16日に余市宇宙記念館で開かれ、地元の日本宇宙少年団余市分団の皆さんなど約120人が参加しました。

毛利さんは講演で、宇宙から観測されたデータを活用した最先端科学技術が地図アプリなど身近なツールに利用されていることについて解説しました。続くパネルディスカッションでは、「ワインが牽引する余市の未来」をテーマに齊藤啓輔町長や地元のワイナリー経営者ら5人と宇宙からの視点を交えた議論を繰り広げました。

イベント終了後に取材対応した毛利さんは「宇宙技術の発展は今後10年が勝負の時期です。宇宙データをアプリ化し、農業や漁業、林業などの現場で活用できるようになれば、これらの技術が日常生活に浸透するでしょう」と宇宙技術の発展と町づくりについての考えを語りました。また、日本宇宙少年団余市分団の皆さんに向けて「子供たちは最先端の科学技術を当たり前に使こなす世代として育ちますが、AI(人工知能)時代には個性を持つことが重要です。情報が均一化する中で、自分ならではの長所を持つことが求められます」とメッセージを送りました。



○冬期間の宇宙記念館運営について

- ・観覧の休止について

12月から4月18日(金)まで、展示施設の観覧を休止しています。

余市宇宙記念館では「サポートボランティア」を募集しています。

問合せ 余市宇宙記念館 ☎21-2200